

遠野まごころネット様

東日本大震災から一年が経とうとしています。遠野まごころネット様におかれては震災直後から被災者に寄り添う活動を継続的に行われていることに、何と云えばいいか、感謝や感動を覚えます。私も昨年の8月2日～9日まで、倉敷ボランティアバス後期8班として遠野まごころネットさんにお世話になりました。昨年、11月に放映された「NHKスペシャル：東日本大震災『助かった命がなぜ』」を見させていただき、仮設住宅への地道な支援や「まごころの郷」の開設など見て、何か自分に出来ることはないだろうかと考え、前任校で得た技術を使い、「備前焼のメッセージ陶板を作り届けよう」と思いました。

前任校の（水島工業高校の陶芸部）から粘土をもらい、「まごころの郷」「絆」の二枚の陶板を作り、私が体験を申し込んでいた、備前陶芸センターの穴窯で焼き、いいものが完成しました。そして、まごころネットの活動拠点に展示できるように、同じバスで共に活動した「倉敷木材株式会社」の笠原茂利人氏に協力をお願いし陶板の台座を作っただけでした。

大勢の協力者によって、この作品が作れたことに感謝しています。岡山だからこそと思い、岡山の伝統工芸である、備前焼を作り、台座に使用しているのは、すべて岡山県産の桜です。倉敷ボランティアバス後期8班として共に遠野まごころネットで活動したメンバーで作り上げました。そして、これからも支援活動の大変な「遠野まごころネット」様の心の支援につながればと思っています。

平成24年3月3日

倉敷市 万波 学